2025年度　通信教育実施計画

歴史総合

指導目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ，課題を追究したり解決したりする活動を通して，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 （1）近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え，現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 （2）近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義，特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現在とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。 （3）近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

教材	教科書：新選歴史総合（東京書籍） 学習書：新選歴史総合　学習書（NHK出版） レポート、学習ノート

レポート	全６回
面接指導	標準時間数：3時間（※面接指導減免8割の学習者の必要時間数は1時間）
放送	全20回（テレビ　WEB視聴可）
到達度チェック・試験	中間到達度チェック（9月）・年度末試験（1月）

単位	２単位
評価	評価に用いる具体的な学習要素について記載する。 【①知識・技能】レポート各回の学習内容・成果、中間到達度チェックおよび年度末試験での成果にもとづき評価します。 【②思考・判断・表現】レポート各回の学習内容・成果、中間到達度チェックおよび年度末試験での成果にもとづき評価します。 【③主体的に学習に取り組む態度】レポート各回の学習内容・成果、中間到達度チェックの成果、レポート提出状況（提出期限）、スクーリング出席状況（必要時間の出席充足）、放送視聴状況にもとづき評価します。 上記①～③の総合評価により、年度末に5段階で評定を決定します。

	添削指導（レポート）		面接指導（スクーリング）		放送（NHK高校講座）		オンライン指導	到達度チェック 年度末試験
月	回（提出期限）	指導単元・項目	週	指導内容・学習活動等	回	内容	内容	内容・範囲
4			1 2	①オリエンテーション 歴史総合という科目の特徴について簡単に解説。中学校の学習の振り返りから、近代化とはどのようなことか考えさせる。				
			3 4	②「18世紀の東アジア」（第１回レポート） 清の統治体制を中心に、18世紀の東アジアの国際関係の仕組みを理解させる。	1	なぜ歴史総合なのか	オリエンテーション（VOD）・科目の学習概要の説明	
5			1 2	③「18世紀のヨーロッパとアジア」（第１回レポート） 17世紀後半から大西洋を舞台に成立した新たな経済関係について、三角貿易を取り上げながらつかませる。	2	18 世紀のアジア		
	第1回 5月30日	（教科書p.7～51） ①歴史の扉 ②近代化への問い ③結びつく世界と日本の開国	3 4	④「産業革命と世界経済の変化」（第１回レポート） イギリスの産業革命からはじまる社会の変化と、世界経済への影響について理解させる。	3 4	産業革命と世界経済の変化 近代社会と国民国家		
6			1 2	⑤「市民革命と近代社会」（第２回レポート） アメリカの独立やフランス革命を取り上げながら、市民革命が生み出した社会の仕組みをとらえる。	5	近代国家への道のり		
			3 4	⑥「明治維新と東アジアの国際関係」（第２回レポート） 幕末の国際関係から、明治維新によってどのように日本社会が変化したのか理解させる。	6	帝国主義の時代		

7			1 2	⑦「帝国主義と植民地」（第２回レポート） 帝国主義とはどのような動きか、その背景をつかみ、世界各地で行われた植民地獲得競争の経緯を理解させる。	7	20 世紀はじめの世界		
	第2回 7月20日	（教科書p.52～83） ①国民国家と明治維新 ②近代化と現代的な諸課題	3 4	⑧「帝国主義諸国の競合と国際関係」（第２回レポート） ヨーロッパの情勢に触れながら、日清戦争から日露戦争にかけての日本の動きを理解する。	8	第一次世界大戦と戦後の世界 ～大衆社会・戦争・国際協調体制～	前期（４～７月）の復習（VOD・中間到達度チェックに向けての対策、学習のポイント）	
8			1 2	⑨中間到達度チェック範囲（第１回・第２回レポート）の復習（１）		夏期講座		
			3 4	⑩中間到達度チェック範囲（第１回・第２回レポート）の復習（２）				
9			1 2	⑪「第一次世界大戦の展開」（第３回レポート） 大戦の背景と経緯をつかみながら、総力戦体制とはどのようなものだったのか理解する。	9	ソ連の登場とアメリカの繁栄		
	第３回 9月30日	（教科書p.84～115） ①国際秩序の変化や大衆化への問い ②第一次世界大戦と大衆社会	3 4	⑫「国際協調体制の形成」（第３回レポート） ヴェルサイユ体制とはどのようなものだったのか、またワシントン体制における軍縮についてもまとめさせる。	10	国際協調体制の変容		中間到達度チェック（レポート第1回・第２回）
10			1 2	⑬「ソヴィエト連邦の成立と社会主義」（第３回レポート） ロシア革命とソヴィエト連邦成立の経緯をつかみ、それが世界にどのような影響を与えたのか理解させる。	11	国際協調体制の瓦解		
			3 4	⑭「アメリカ合衆国の台頭と大量消費社会」（第３回レポート） 第一次世界大戦後のアメリカの繁栄について理解し、大衆化とはどのようなことかつかませる。	12 13	第二次世界大戦と戦後秩序の形成 戦後世界の船出とアジアの再編		
11	第4回 11月10日	（教科書p.116～141） ①経済危機と第二次世界大戦 ②国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題	1 2	⑮「世界恐慌と国際協調体制の変容」（第３回レポート） 世界恐慌の影響から国際協調体制が崩壊していく過程を理解し、その中での各国の対応をつかむ。	14	冷戦の変化と脱植民地化		
			3 4	⑯「第二次世界大戦と戦後秩序の形成」（第４回レポート） 第二次世界大戦が勃発した背景と経緯について、太平洋戦争にも触れながら理解させる。連合国を中心とした戦後構想についてもつかませる。	15	冷戦下の日本の政治と経済成長		

12			1 2	⑰「戦後世界と日本の民主化」（第４回レポート） 戦後の日本が復興していく過程をつかみ、サンフランシスコ講和会議についてもについても触れる。	16	ベトナム戦争と世界秩序の変容		
	第5回 12月20日	（教科書p.142～169） ①グローバル化への問い ②冷戦と世界経済	3 4	⑱年度末試験範囲（第３回、第４回レポート）の振り返り（１）			年度末試験に向けての復習（VOD・レポート第3回～第4回）	
1			1 2	⑲年度末試験範囲（第３回、第４回レポート）の振り返り（２）	17	石油危機とアジアの経済発展		
			3 4	⑳「冷戦の拡大と対立の緩和」（第５回レポート） 冷戦の構造と変化をつかませ、第三勢力の台頭について触れる。	18	冷戦の終結		年度末試験（レポート第３回・第４回）
2			1 2	㉑「冷戦下の日本と高度経済成長」（第５回レポート） 1950年代半ば以降の日本の政治体制と、社会の変化について理解させる。また、国際関係についても触れる。	19	グローバル化とこれからの世界		
	第6回 2月15日	（教科書p.170～197） ①世界秩序の変容と日本 ②現代的な諸課題の形成と展望	3 4	㉒「ベトナム戦争と世界秩序の変容」（第５回レポート） ベトナム戦争の経緯と、それがアジアの国々やアメリカにどのような影響を与えたのか考えさせる。	20	現代的な諸課題の形成と展望		
3			1 2	㉓「冷戦の終結と地域紛争の激化」（第６回レポート） 1980年代の冷戦終結に向けての動きを追いながら、現代の世界へつなげる。				
			3 4	㉔振り返り 歴史総合を学んできた中での感想を個別に書かせ、可能であれば他者と共有する。または、これまでの学習の中からテーマを自由に選び、改めて個別に調べさせる、可能であれば他者と共有する。				